

情報連絡員報告総括表(平成30年6月分)

三重県中小企業団体中央会
連絡員総数 40名
回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況								
		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化						
製 造 業	食 料 品		2	2		4		1	3			4			1	3		3	1		4			4			1	3						
	織 維 工 業	1	1	1		2	1	1	2			3			2	1		3			2	1		3			2	1						
	木 材 ・ 木 製 品		1			1			1			1			1			1			1			1			1							
	紙 ・ 紙 加 工 品	1		1		2			2			2				2		2			1	1		2			1	1						
	印 刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1							
	化 学 ・ ゴ ム																																	
	窯 業 ・ 土 石 製 品		1	2		3			3			3			2	1		3			2	1		3			2	1						
	鉄 鋼 ・ 金 属	1				1			1			1		1			1			1				1		1								
	一 般 機 器	1	1	1	1	1	1		3			2	1	1	1	1		3			3		1	1	1		2	1						
	電 気 機 器	1				1			1			1		1			1			1			1			1								
輸 送 機 器	1				1			1			1		1			1			1			1			1									
そ の 他																																		
小 計		6	7	7	1	17	2	2	18			19	1	4	8	8	3	16	1	3	14	3	3	16	1	3	10	7						
非 製 造 業	卸 売 業		1	1		1	1	1	1			2			1	1		2		X				2			1	1						
	小 売 業	1	1	4	2	4		2	2	2		4	2		3	3		3	3					5	1		2	1	3					
	商 店 街		1				1		1			1				1		1						1			1			1				
	サ ー ビ ス 業		4	1	X				5			5			5			5						5			5			5				
	建 設 業		2	2					3	1		3	1		3	1		3	1					3	1		3	1		3	1		3	1
	運 輸 業			1					1			1			1			1						1			1			1			1	
	そ の 他		1						1			1			1			1						1			1			1			1	
小 計		1	10	9				2	5	2	3	14	3		17	3		14	6		16	4		18	2		2	2	13	5				
合 計		7	17	16				3	22	4	5	32	3		36	4	4	22	14	3	32	5	3	14	3	3	34	3	5	23	12			

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成29年6月～平成30年6月)

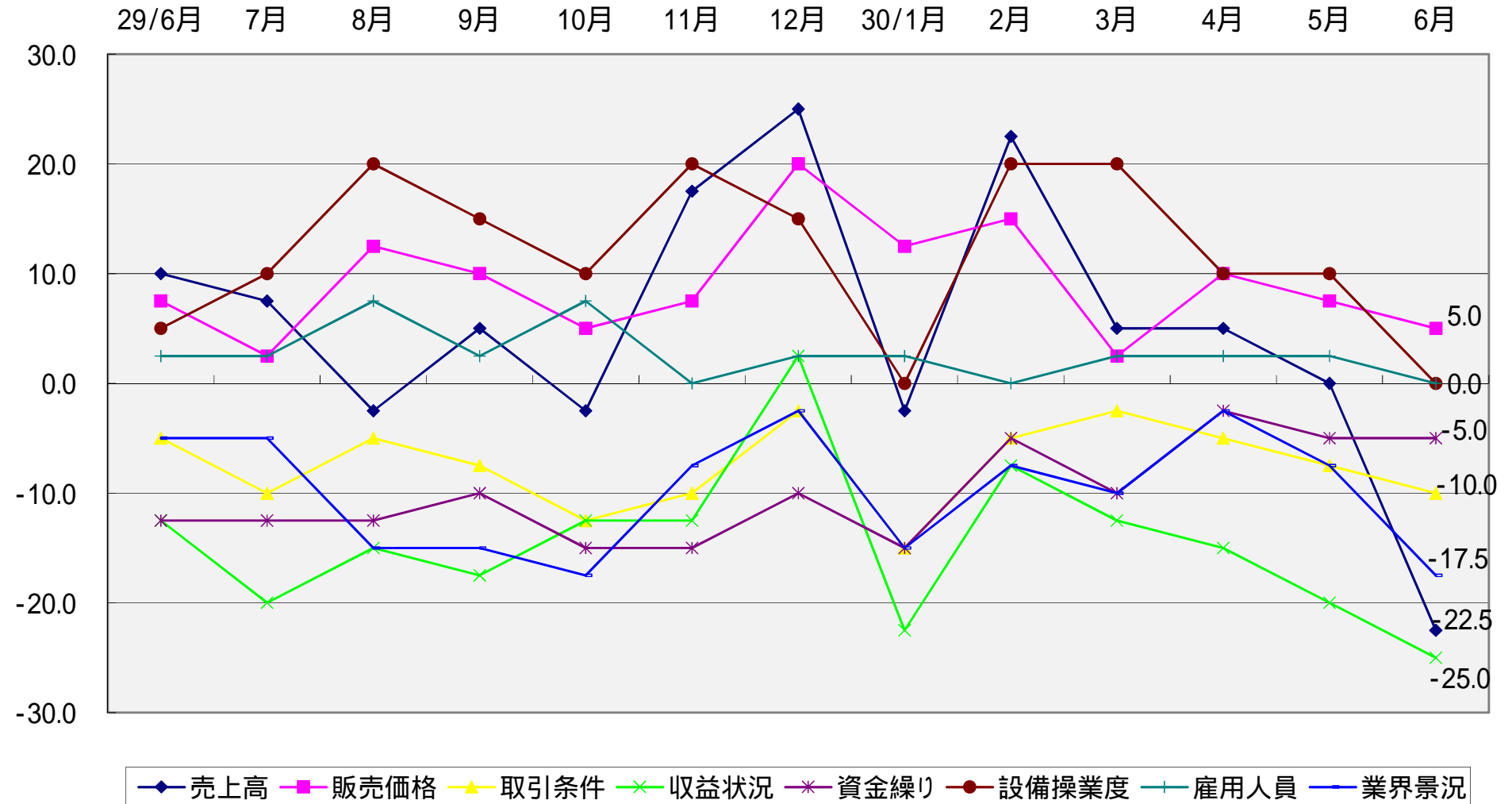
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	29/6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30/1月	2月	3月	4月	5月	6月	増減
売上高	10.0	7.5	-2.5	5.0	-2.5	17.5	25.0	-2.5	22.5	5.0	5.0	0.0	-22.5	-22.5
販売価格	7.5	2.5	12.5	10.0	5.0	7.5	20.0	12.5	15.0	2.5	10.0	7.5	5.0	-2.5
取引条件	-5.0	-10.0	-5.0	-7.5	-12.5	-10.0	-2.5	-15.0	-5.0	-2.5	-5.0	-7.5	-10.0	-2.5
収益状況	-12.5	-20.0	-15.0	-17.5	-12.5	-12.5	2.5	-22.5	-7.5	-12.5	-15.0	-20.0	-25.0	-5.0
資金繰り	-12.5	-12.5	-12.5	-10.0	-15.0	-15.0	-10.0	-15.0	-5.0	-10.0	-2.5	-5.0	-5.0	0.0
設備操業度	5.0	10.0	20.0	15.0	10.0	20.0	15.0	0.0	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0	-10.0
雇用人員	2.5	2.5	7.5	2.5	7.5	0.0	2.5	2.5	0.0	2.5	2.5	2.5	0.0	-2.5
業界景況	-5.0	-5.0	-15.0	-15.0	-17.5	-7.5	-2.5	-15.0	-7.5	-10.0	-2.5	-7.5	-17.5	-10.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	漬物	漬物製造業における食品衛生管理のHACCP導入への対応や、H32年4月1日から実施が予定されている食品成分表示への対応など、組合を通じて情報提供を進めている。全漬連作成のHACCPの手引の配布や、9月に実施される漬物技能者評価制度への認定試験の受験を推進している。	
	食料品	醤油味噌	6月も業況は良くなかった。輸出とレトルト食品が伸びているので、関わる組合員に期待したい。消費税の軽減税率に関する説明会を中央会の協力により、名古屋国税局の説明会を7月19日に当組合で実施することとなった。
	豆腐	暑い日が続き、豆腐の売れ行きは好調である。	
	製麺	伊勢うどんの売上は横ばいの状況であるが、その他の麺類の売上が苦戦している。今後、夏はイベント活動がないが、秋に向けてイベント活動を活発に進めていきたい。	
	紙・紙加工品	紙器段ボール	気温が高い日が続き、冷菓等が良く出た。相対的に昨年対比を少し超えるぐらいの量で推移した。
		古紙	6月の取扱重量は、前年対比で段ボール：約99±6%、新聞・チラシ：約93±4%、雑誌・雑紙・その他合わせて：約93±5%の模様。6月は夏日もあり、飲料関係や冷菓食品等の段ボールケースが順調に増加したとのこと。今後の段ボール古紙の入荷に期待したい。しかしながら取引先によって集荷量に増減がある。新聞古紙は集荷量が減少しており、不安材料である。雑誌・古紙も入荷が悪く、6月の入荷減少は異常事態である。
	窯業・土石製品	伊賀焼	この時期は例年、入館者数及び売上とも落ち込むが、それに拍車をかけているのが、ガソリン価格の高騰である。中東の原油増産を促すニュースを聞くが、早く原油安となることを望む。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は5月と同傾向にあり、扱う製品により多いもの少ないものにわかれ、自動車関連は横ばい状態、電気機械関連は5月と同様、その他の製品は多少の増加傾向である。半導体関連は、5月とほぼ変わらずメーカーによって対応が違ってきている。これはエンドユーザーによって現状維持するもの、在庫調整を打ち切り減産に入るものに分かれ全体的には横ばい状況であった。
	一般機器	四日市	景気拡大が足踏み傾向で、2日の「日銀短観」では、原材料高が重荷となって、大企業の製造業が5年半ぶりに景況感が悪化した。株価も下降気味で、設備投資計画に迷いが生じてきた。組合員の多くも気を引き締めて行かねばならない。
		伊勢	新しい外国人技能実習制度においては、技能実習生に対して適切な待遇を確保していく必要があり、会社としても勉強や準備をしていかなければならない。
電気機器		鳥羽	受注コストは厳しいが、受発注が好調で、稼働率が上がっている。
輸送機器	鈴鹿	取引先の前期決算報告を聞くと、過去最高の売上高、経常利益をあげたところが多い。当組合企業でも概ね良い決算だったようであるが、まだリーマンショック前の水準には戻っていないところもある。最近は過剰なまでの品質保証体制が求められており、自動化を図れないような量産品での検査工程では人手に頼らざるをえず、生産性が悪くなっていることも利益を出せない一因であると考える。	
非 製 造 業	小売業	青果	野菜：前半は全体的に例年より2割～3割程安い。特にハクサイ・レタス・玉葱・ジャガイモの入荷が安定した。トマトも入荷が安定し、お値打ちである。梅は例年より安い。ラッキョウは鳥取産がピークであった。後半は長野や岐阜の高冷地の生育が進まず、全体的に平年の1割安ぐらいに戻っている。天候不順や産地の切替えの遅れから、キュウリ・トマト・ナスも値上がり気味。果物：前半は今年は開花が早く平年に比べ10日程サクランボ、桃などの入荷が早い。愛知産ハウスミカン量は量が増えており、甘みもある。スイカは愛知産が中心。後半はメロン、スイカが産地の切替で入荷が少なく、特にスイカは気温が高いため、需要が高まり値上がりしている。山形産サクランボはお値打ちである。
	自転車	昨年5月に自転車活用促進法が施行され、自転車の活用の推進について18項目に亘る推進計画案が策定された。この夏ごろまでに閣議決定がなされようとしている中、国内の需要の縮小が続き、三重県内でも同様の動きとなっている。一方電動アシスト車については堅調であるものの、一般車については高付加価値化により、廉価車との差別化を図る傾向も見られ、経営の戦略上、一部メーカーでは小売店との取引について厳しい取引条件を提示するところもあり、今後の仕入先の確保等、各ショップに於いて経営環境はかなり厳しい状況になってきている。	

報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
平成30年6月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
非 製 造 業	小売業	石油 6月の燃料販売数量は、前年対比94%前後の状況であった。原油価格については、中旬より下落傾向により、店頭価格についても多少値下げになってきていたが、地域全体にみても6月にかけて天候不順により洗車は不調、油外商品も低迷しており、かなり販売数量の減販しているところもあり、収益面において厳しい状況であった。SS業界については深刻な問題として人材不足の影響においてSS運営における適材適所としての人材不足が徐々に影響してきており、今後大きな問題として対応が迫られる状況である。	
	小売業	スポーツ いよいよ7月より平成30年度全国高等学校総合体育大会が始まる。組合を上げてより大きなビジネスチャンスと位置付けて好成績を上げようと考えている。幸運なことに全種目の大会会場で使用する役員、補助員の服飾品を納めることができた。作業やその後の会計が大変だが、力を合わせて頑張りたい。	
	商店街	熊野市 しばらく出店希望者がなかった空き店舗を活用した「チャレンジショップ事業」に、ようやく出店を希望される事業者から連絡があり、7月から開業される予定である。20代の若手で柔道整復師の国家資格を取得したのを機に、今回出店を希望した。現在は他の仕事をしながら平日の夕方から営業、土日は全日営業をしていく予定であるが、今後経営が順調に進んでいけば、現在の仕事を退職して整復師として独立していく予定である。	
	サービス業	旅館	前半は順調に集客を伸ばしていたが、6月18日に大阪府を中心に起きた地震の影響からか、後半は伸びが鈍ったようである。数年前より関西からの集客が減少している中、三重県観光局が関西への誘客活動を強化して、関西市場の地盤沈下対策に動き出した矢先の出来事であるが、予定していた計画は推薦していただきたい。
		警備	6月は雨天日が多く、稼働日数が大幅に減少した為、売上高も減少となった。
	建設業	内装工事業	前月までの流れが止まり、6月分は対前年同月比で減少となった。7月も前年の成績が良かったので、前年比で減少すると予想される。
水道工事業 (四日市)		6月は特に大きな変化は見られなかった。ただ、梅雨時ということもあり、仕事量の減少が見られた。	
運輸業	トラック	輸送貨物物量に減少の傾向が見られる。	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	2020年に向けてHACCPの取組み、原料、原産地表示が決まってきた。それに向けて勉強会を開催していく。
一般機器	四日市	政府の無策に嫌気がさしてきた。アベノミクスも終わりにしてもらわないと、ズルズルと貿易も技術も低下していく。
サービス業	旅館	来年1月から日本を出国するあらゆる人から1千円を徴収する「国際観光旅客税」(出国税)が施行、適用され、その用途は「快適な旅行環境の整備、日本の魅力に関する情報の発信、観光資源の整備、等とされている。現在の外国人観光が都市型主要の観光地を結んだゴールデンルートなどに頼っているの、地方の観光地への分散に資する施策に活用していただきたい。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	食料品	漬物	漬物製造業における食品衛生管理のHACCP導入への対応や、H32年4月1日から実施が予定されている食品成分表示への対応など、組合を通じて情報提供を進めている。全漬連作成のHACCPの手引の配布や、9月に実施される漬物技能者評価制度への認定試験の受験を推進している。
		醤油味噌	6月も業況は良くなかった。輸出とレトルト食品が伸びているので、関わる組合員に期待したい。消費税の軽減税率に関する説明会を中央会の協力により、名古屋国税局の説明会を7月19日に当組合で実施することとなった。
		豆腐	暑い日が続き、豆腐の売れ行きは好調である。
		製麺	伊勢うどんの売上は横ばいの状況であるが、その他の麺類の売上が苦戦している。今後、夏はイベント活動がないが、秋に向けてイベント活動を活発に進めていきたい。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	気温が高い日が続き、冷菓等が良く出た。相対的に昨年対比を少し超えるぐらいの量で推移した。
		古紙	6月の取扱重量は、前年対比で段ボール：約99±6%、新聞・チラシ：約93±4%、雑誌・雑紙・その他合わせて：約93±5%の模様。6月は夏日もあり、飲料関係や冷菓食品等の段ボールケースが順調に増加したとのこと。今後の段ボール古紙の入荷に期待したい。しかしながら取引先によって集荷量に増減がある。新聞古紙は集荷量が減少しており、不安材料である。雑誌・古紙も入荷が悪く、6月の入荷減少は異常事態である。
	窯業・土石製品	伊賀焼	この時期は例年、入館者数及び売上とも落ち込むが、それに拍車をかけているのが、ガソリン価格の高騰である。中東の原油増産を促すニュースを聞くが、早く原油安となることを望む。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は5月と同傾向にあり、扱う製品により多いもの少ないものにわかれ、自動車関連は横ばい状態、電気機械関連は5月と同様、その他の製品は多少の増加傾向である。半導体関連は、5月とほぼ変わらずメーカーによって対応が違ってきている。これはエンドユーザーによって現状維持するもの、在庫調整を打ち切り減産に入るものに分かれ全体的には横ばい状況であった。
	一般機器	四日市	景気拡大が足踏み傾向で、2日の「日銀短観」では、原材料高が重荷となって、大企業の製造業が5年半ぶりに景況感が悪化した。株価も下降気味で、設備投資計画に迷いが生じてきた。組合員の多くも気を引き締めて行かねばならない。
		伊勢	新しい外国人技能実習制度においては、技能実習生に対して適切な待遇を確保していく必要があり、会社としても勉強や準備をしていかなければならない。
電気機器	鳥羽	受注コストは厳しいが、受発注が好調で、稼働率が上がっている。	
輸送機器	鈴鹿	取引先の前期決算報告を聞くと、過去最高の売上高、経常利益をあげたところが多い。当組合企業でも概ね良い決算だったようであるが、まだリーマンショック前の水準には戻っていないところもある。最近は過剰なまでの品質保証体制が求められており、自動化を図れないような量産品での検査工程では人手に頼らざるをえず、生産性が悪くなっていることも利益を出せない一因であると考える。	
非 製 造 業	小売業	青果	野菜：前半は全体的に例年より2割～3割程安い。特にハクサイ・レタス・玉葱・ジャガイモの入荷が安定した。トマトも入荷が安定し、お値打ちである。梅は例年より安い。ラッキョウは鳥取産がピークであった。後半は長野や岐阜の高冷地の生育が進まず、全体的に平年の1割安ぐらいに戻っている。天候不順や産地の切替えの遅れから、キュウリ・トマト・ナスも値上がり気味。果物：前半は今年は開花が早く平年に比べ10日程サクランボ、桃などの入荷が早い。愛知産ハウスミカン量は量が増えており、甘みもある。スイカは愛知産が中心。後半はメロン、スイカが産地の切替で入荷が少なく、特にスイカは気温が高いため、需要が高まり値上がりしている。山形産サクランボはお値打ちである。
		自転車	昨年5月に自転車活用促進法が施行され、自転車の活用の推進について18項目に亘る推進計画案が策定された。この夏ごろまでに閣議決定がなされようとしている中、国内の需要の縮小が続く、三重県内でも同様の動きとなっている。一方電動アシスト車については堅調であるものの、一般車については高付加価値化により、廉価車との差別化を図る傾向も見られ、経営の戦略上、一部メーカーでは小売店との取引について厳しい取引条件を提示するところもあり、今後の仕入先の確保等、各ショップに於いて経営環境はかなり厳しい状況になってきている。

報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
平成30年6月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
非 製 造 業	小売業	石油	6月の燃料販売数量は、前年対比94%前後の状況であった。原油価格については、中旬より下落傾向により、店頭価格についても多少値下げになってきていたが、地域全体にみても6月にかけて天候不順により洗車は不調、油外商品も低迷しており、かなり販売数量の減販しているところもあり、収益面において厳しい状況であった。SS業界については深刻な問題として人材不足の影響においてSS運営における適材適所としての人材不足が徐々に影響してきており、今後大きな問題として対応が迫られる状況である。
	小売業	スポーツ	いよいよ7月より平成30年度全国高等学校総合体育大会が始まる。組合を上げてより大きなビジネスチャンスと位置付けて好成績を上げようと考えている。幸運なことに全種目の大会会場で使用する役員、補助員の服飾品を納めることができた。作業やその後の会計が大変だが、力を合わせて頑張りたい。
	商店街	熊野市	しばらく出店希望者がなかった空き店舗を活用した「チャレンジショップ事業」に、ようやく出店を希望される事業者から連絡があり、7月から開業される予定である。20代の若手で柔道整復師の国家資格を取得したのを機に、今回出店を希望した。現在は他の仕事をしながら平日の夕方から営業、土日は全日営業をしていく予定であるが、今後経営が順調に進んでいけば、現在の仕事を退職して整復師として独立していく予定である。
	サービス業	旅館	前半は順調に集客を伸ばしていたが、6月18日に大阪府を中心に起きた地震の影響からか、後半は伸びが鈍ったようである。数年前より関西からの集客が減少している中、三重県観光局が関西への誘客活動を強化して、関西市場の地盤沈下対策に動き出した矢先の出来事であるが、予定していた計画は推薦していただきたい。
		警備	6月は雨天日が多く、稼働日数が大幅に減少した為、売上高も減少となった。
	建設業	内装工事業	前月までの流れが止まり、6月分は対前年同月比で減少となった。7月も前年の成績が良かったので、前年比で減少すると予想される。
水道工事業 (四日市)		6月は特に大きな変化は見られなかった。ただ、梅雨時ということもあり、仕事量の減少が散見された。	
運輸業	トラック	輸送貨物物量に減少の傾向が見られる。	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	2020年に向けてH A C C Pの取組み、原料、原産地表示が決まってきている。それに向けて勉強会を開催していく。
一般機器	四日市	政府の無策に嫌気がさしてきた。アベノミクスも終わりにしてもらわないと、ズルズルと貿易も技術も低下していく。
サービス業	旅館	来年1月から日本を出国するあらゆる人から1千円を徴収する「国際観光旅客税」(出国税)が施行、適用され、その用途は 快適な旅行環境の整備、日本の魅力に関する情報の発信、観光資源の整備、等とされている。現在の外国人観光が都市型主要の観光地を結んだゴールデンルートなどに頼っているの、地方の観光地への分散に資する施策に活用していただきたい。